

代表質問(要旨)



長谷川 修平 議員
県民フォーラム
日立市選出
一括方式

知事の基本姿勢

議員 「話を聞く姿勢」こそが知事の重要な役割の一つである。そうした知事の姿勢を通じて、県民は知事を信頼していくと考

えが、所見は。
知事 県政世論調査のほか、私

自らが現場へ出向き、県民との丁寧な対話と本音の議論を行う対話集会の実施などを通じて、信頼関係を築きながら、県民が未来に希望を持つことができる「新しい茨城づくり」に全力で取り組んでいく。

県北振興

議員 人口減少をはじめ厳しい

状況が続く中、県北振興を図るためには政治の力が重要である。知事には不転の決意を持って全力で取り組むことを望むが、今後、県北振興をどう進めていくのか。
知事 県北振興を進めるためには、地域自らが考え、主体的に取り組んでいくことが重要であり、県も地域と目標などを共有した上で、効果的・効率的な取り組みを進める必要がある。新たな総合計画で示す県北地域の将来像の実現に向け、未来に希望の持てる県北地域づくりに全力で取り組んでいく。
本県の資源を生かした産業振興と雇用創出
議員 今後、産業振興や雇用創出を進めるため、県や企業などが連携を図るとともに、県による支援を充実・強化し、企業の枠を超えたオープンイノベーションの促進などに取り組むべ



さらなる地域振興が期待される県北地域

きと考えるが、所見は。
知事 産学官金による「茨城県IoT推進ラボ」を創設し、県内企業の生産性向上などの取り組みを支援するなど、一層の産学官の強化に向けて県が中心的な役割を担いながら、科学技術の集積や産業資源を最大限に活用し、産業振興を図っていく。(ほかに、財政運営、医師確保対策なども質問)



白井 平八郎 議員
自民県政クラブ
結城市選出
一括方式

宇宙ビジネスの拠点形成

議員 本県には筑波宇宙センターや多数の研究機関などがあり、宇宙ビジネスを展開する上で他地域にない強みがある。宇宙ビジネスの拠点形成に向け、どう取り組むのか。
知事 宇宙ビジネス参入促進のためのシンポジウムやビジネスプランに対するマッチング会を実施し、機運醸成を図る。また、宇宙ビジネスに詳しいコーディネーターによるビジネス相談などを行うとともに、県産業技術イノベーションセンターに企業の宇宙機器開発支援のための小型試験設備を整備し、体制構築を

図る。さらに、企業の開発経費などを助成する財政支援を行い、宇宙といえば「茨城」というブランドイメージを構築し、関連企業の集積を促進して、宇宙ビジネスの拠点形成を図っていく。
鬼怒川緊急対策プロジェクトの進捗と田川の改修見通し
議員 鬼怒川緊急対策プロジェクトの進捗状況および田川の改修見通しは。
知事 鬼怒川では、必要な堤防地の八割超を取得し、三割超の堤防が完成または整備中である。河道掘削も約六割が完了しており、二〇二〇年度の完成に向け順調に工事が進められている。田川については、調査・設計を開始するとともに合流点の整備について国と調整を行っているところであり、早期に河川改修が実施できるよう努める。

大規模災害に対する県警察としての取り組み
議員 大規模災害に対する県警察としての取り組みは。
警察本部長 各種気象警報発表時や震度四以上の地震発生の際、災害警備連絡室を設置し、初動対応に当たっている。また、水害や地震などあらゆる事態を想定した災害対応訓練を実施し、災害対応能力向上に努めている。(ほかに、知事の基本姿勢、介護人材の確保なども質問)



茨城に宇宙ビジネスの拠点形成を(JAXA提供)



井手 義弘 議員
公明党
日立市選出
分割方式

今後の県政運営

議員 子育て日本一を目指した支援策として、医療費の負担を軽減する小児マル福制度を拡充し、高校三年生の通院までを対象としてはどうか。
知事 子育て世代の経済的負担を軽減するため、今年十月から入院に対する小児マル福制度の対象を、これまでの中学三年生から高校三年生まで拡充する。

通院については、拡充の効果を

見極めつつ、財政状況や他県の動向を勘案しながら検討する。
国体・障害者スポーツ大会、東京オリンピックピックの開催
議員 フリーWiFiの十分な整備と茨城の魅力を紹介するコンテンツが必要である。また、国体に合わせてコンピュータゲームのeスポーツが実施されるが、茨城らしい特徴や独自性をどのように発揮していくのか。
知事 県のイメージアップやスポーツ振興につなげるため、民間事業者とも連携して新たな情報発信に挑戦していく。また、ネット環境の整備とともに競技のライブ中継などコンテンツの

充実を図る。eスポーツは、日本サッカー協会からも協力いただくなど、関係機関と連携して成功に向けて取り組んでいく。
ヘルプマークの制作・配布と普及促進
議員 外見からは容易に判断することが難しい内部障害や難病の方、妊娠初期の方などが、援助や配慮の必要性を周囲に知らせるヘルプマークを作成・配布し、社会的認知度向上を目指すべきと考えるが、所見は。
知事 ヘルプマークおよびヘルプカードを来年度から配布し、身に付けている方が必要とする援助や配慮をきちんと受けられるよう、その役割や見かけた場



ヘルプマークの作成・配布と社会的認知度向上を

今回の、平成30年第4回定例会は、10月29日から11月14日までの17日間の会期日程で開催される予定です。

月日	曜	議事予定
10. 29	月	議会運営委員会 本会議(開会、知事提出議案説明)
30	火	休会(議案調査)
31	水	休会(議案調査)
11. 1	木	議会運営委員会 本会議(一般質問・質疑)
2	金	本会議(一般質問・質疑)
3	土	(文化の日)
4	日	
5	月	本会議(一般質問・質疑、議案常任委員会付託)
6	火	休会(委員会審査準備)
7	水	休会(常任委員会)
8	木	休会(決算特別委員会)
9	金	休会(新しい茨城づくり調査特別委員会)
10	土	
11	日	
12	月	休会(国体・障害者スポーツ大会推進調査特別委員会)
13	火	休会(議事整理)
14	水	議会運営委員会 本会議(委員長報告、採決、閉会)